

じゅんさい池（下野）

（じゅんさいいけ）



全景



じゅんさい摘み

ため池の概要

ため池の所在地

新潟県阿賀野市

ため池の特徴

じゅんさい池は、明治以前に築造された農業用ため池で、その名のとおり夏には水面一面にじゅんさいが繁茂します。毎年6月、丸太イカダに乗って行う「じゅんさい摘み」は集落の年中行事になっています。

池には、タヌキモ類やガガブタなどの絶滅危惧種に指定されている貴重な水中植物が生育し、サギソウやサワギキョウなども見られます。また日本で一番小さいハッチョウトンボをはじめ、様々なトンボ相も観察することができ、多様な生き物が生息する環境が維持・形成されています。

地元自治会では、周辺の草刈、ごみ拾い、遊歩道の整備を行っているほか、緑の羽根募金活動を通じて毎年植樹を行い、池の環境整備を進めています。

関連情報